徳川家康

夏季特別展

Summer Special Exhibition
Tokugawa Ieyasu:
The Path to Supreme Rule

―天下人への歩み―

2023年

7.23[日]―9.18[月・祝]

開館時間　午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日　月曜日（但し、9/18（月・祝）は開館、翌9/19（火）は休館）
※8/14（月）は臨時開館
観覧料　一般1,600円 / 高大生800円 / 小中生500円
※20名様以上の団体は一般1,400円 / 高大生700円 / 小中生400円
※土曜日は高校生以下入館無料
主　催　徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社
後　援　NHK名古屋放送局
協　力　名古屋市交通局

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM
TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261
〒461-0023　名古屋市東区徳川町

蓬左文庫
HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA
TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174

重要文化財
葵紋付葵の葉文辻ヶ花染羽織
徳川家康着用　前期

徳川家康

夏季特別展
Summer Special Exhibition
Tokugawa Ieyasu:
The Path to Supreme Rule

―天下人への歩み―

薄水色麻地蟹文浴衣
徳川家康着用　前期

慶長8年(1603)、征夷大将軍となった徳川家康は、幕府を成立させ、約250年も続く泰平の世の基礎を築き上げました。家康の生涯の大半は、室町時代から続く戦国の世であり、時に命が危険にさらされながらも、幾つもの困難を乗り越え、その戦乱に終止符を打ちました。蓬左文庫展示室では、歴史史料を中心に家康がとった選択に注目しながら、その波乱の生涯を辿ります。徳川美術館本館展示室では、家康歿後に尾張徳川家へ贈られた「駿府御分物」(家康の遺産)を中心に、家康の人となりから軍事・政治と学問・茶や香といった芸能などに焦点を当て、家康像を紐解いていきます。

＊会期中、展示替えがあります。
前期 7月23日(日)～8月20日(日)　後期 8月22日(火)～9月18日(月・祝)

真珠を散りばめた小箱
真珠貝玉箱　徳川家康ほか所用

神格化された家康像?
徳川家康画像(三方ヶ原戦役画像)
7/23～8/31

元康時代の貴重な書状
松平元康(家康) 所領安堵状
松又(松平又八郎伊忠)宛

家康が脇に置いた湯たんぽ
桑木地葵紋蒔絵湯婆
徳川家康所用

消耗品の松明(たいまつ)まで大切に保管
松明
徳川家康所用

家康が愛した名碗
曜変天目(油滴天目)　大名物
徳川家康ほか所用

表面 花色日の丸威胴丸具足　徳川家康着用　※所蔵は全て徳川美術館

関連企画

※講座への申込方法など、詳しくは当館ホームページをご覧ください。

土曜講座

家康の遺産

学芸部マネージャー　薄田 大輔

日　時　8月26日(土)午後1時30分～午後3時
(開場:午後1時)
定　員　80名
(事前申込制ですでに満席/空席がある場合のみ当日受講可)
会　場　徳川美術館 講堂
参加費　800円(入館料別途要)

記念講演会

①「家康と天下」

藤井 譲治氏(京都大学名誉教授)

②「服飾から見る徳川家康」

福島 雅子氏(学習院女子大学准教授)

日　時　①7月30日(日)　②8月19日(土)
各日 午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)
定　員　各日 80名(事前申込制/先着順)
会　場　徳川美術館 講堂
参加費　無料(入館料別途要)
受　付　ホームページにて7月1日(土)より受付開始

音声ガイド

ナビゲーターに大河ドラマ「どうする家康」に出演の松重豊さんを迎え、徳川家康展の見どころをわかりやすく紹介します。
(会場レンタル版・有料)

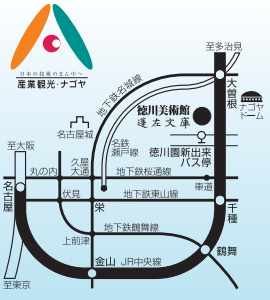
夏休み子ども企画

小・中学生を対象に「徳川家康」展をわかりやすく紹介。楽しく鑑賞するためのワークシートを配布し、ギャラリー・クイズを実施します。
期　間　7月23日(日)～9月3日(日)

次回展覧会

秋季特別展
人間讃歌
―江戸の風俗画―
9月24日(日)～11月5日(日)

国宝　風俗図(彦根屏風　部分)
彦根城博物館蔵
展示期間:10月24日(火)～11月5日(日)



〒461-0023 名古屋市東区徳川町

●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
●メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
●JR中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分

※新型コロナウイルス感染症対策につきましては、当館ホームページをご確認ください。